



ふたば



新座市立第四小学校
2年生学年通信冬休み号
令和6年12月24日

2学期が終わります

長かった2学期も今日で終わります。運動会、音楽発表会など様々な行事を経て、子供たちは心身共に大きく成長しました。また、算数では、3けたの繰り上がり・繰り下がり2回あるたし算・ひき算、かけ算九九、国語では、文章で自分の思いを表現する、順序に気を付けて詳しく書くなど2年生の大切な内容をたくさん学びました。

目まぐるしい毎日の中、子供たちは友達と協力しながら真剣に取り組み、力を身に付けたのではないかと感じています。冬休みは、ぜひ、子供たちと頑張ってきたことを一緒に振り返り、たくさんほめてあげてください。保護者の皆様のご協力、本当にありがとうございました。

《冬休みの課題一覧》

課題	内容	チェック
①ウィンタースキル (別冊のチャレンジ 漢字・計算も)	おうちの方の答え合わせ、直しの見届けのご協力をお願いします。 1行日記はやらなくても大丈夫です。	
②かけ算九九表	すらすら言えたら、九九表にサインをしてください。 言えない九九は、何度も練習させてください。	
③冬休みチャレンジ	表を見ながら取り組んでみてください。	
④なわとびカード (冬休み用)	2年生の目標は前回し跳び、後ろ回し跳び、かけ足跳びです。 できるだけ毎日取り組ませてください。	
⑤書きぞめ	紙を5枚渡します。上手に書けた1枚を提出してください。	
⑥自由課題	おーいお茶俳句 できたら取り組んでみましょう。	

☆かけ算は、2年生の最重要学習内容です。授業や休み時間に学校でも繰り返し練習しましたが、ここでしっかりと覚えないと、3年生以降ではもっと苦勞します。3学期も引き続き取り組んでいきますので、あいまいな部分がないよう、ご家庭でもていねいに見届けをお願いします。

☆年末年始の過ごし方の中で大掃除や食事の用意など家族の一員という実感を感じられるように家でできるお仕事をさせてください。

☆体調に気を付け、生活リズムを整えて生活していくように声かけをお願いします。

始業式 に持ってくるもの 令和7年1月8日(水)

- 冬休みの宿題
- 連絡帳・筆記用具、防災頭巾、上ばき
- ぞうきん1枚(記名したもの)
- フェルトペン
- お道具箱(のり、はさみ、クレパス、色鉛筆)
- やりとり封筒(印をお願いいたします)



《学習用具の点検・補充のお願い》

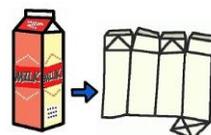
- ・筆箱・・・鉛筆 5 本、赤青鉛筆、消しゴム、ネームペン、定規(15 cm程度)、フェルトペン
- ・ノート・・・残りが少ない物は、同じマス目でご用意ください。
- ・絵の具セット・・・絵の具の補充、パレット・雑巾の確認をお願いします。
- ・紅白帽・防災ずきん・・・ゴムの補修をお願いします。
- ・お道具箱・・・のり、色鉛筆、クレパス、はさみ、カラーペンなどを確認してください。
- ・鍵盤ハーモニカ・・・ホースや吹き口を水洗いする、鍵盤を拭くなど掃除をさせてください。
- ・縄跳び・・・長さの調節をお願いします。

《お知らせとお願い》

☆3学期の生活科「あしたへジャンプ」で自分の成長を振り返り、3年生へと意識を高める学習をします。成長を確かめられるような思い出の写真を3枚程度準備してください。家庭用のプリンターで印刷した物、カラーコピーなどでも構いません。**切り貼りするので貴重なものは持たせないでください。使用時期は1月以降に追ってお知らせします。**また、入学前、1年生の頃、2年生になってからの心に残っているエピソードを、3学期にインタビューしますので、ご承知おきください。

☆3学期当初も寒さが予想されます。そのため体育用のトレーナー(フード・ファスナー・ボタン等がついていないもの)、ズボン(運動しやすいもの)を体育着袋に入れて持たせてください。

☆図工で牛乳パックを使います。2, 3枚ご用意ください。



☆体育着は 1月10日(金)に持たせてください。

☆学童に通っているお子さんの保護者の方へ

1月9日(木)は、通学班会議・一斉下校です。お子さんが学童に行くか、通学班で帰るか確認し、伝えておいてください。



裏面もご覧ください!

《「コツコツと鍛えた体はたからもの」から》

「コツコツと鍛えた体はたからもの」は埼玉県体力向上に向けた合言葉です。この言葉からも分かるように、体力は一朝一夕で向上するものではなく、「日頃からの積み重ね」が大切です。これは、体力だけでなく、「脳を鍛えるためにも大切だ」と言われています。

清瀬の百冊の1つでもある「自分の脳は自分で育てる」(くもん出版)に、そのことが書かれています。日頃、「面倒だな」「やりたくない」と思われるような授業や家庭学習は、脳を鍛えることに自然とつながっていることや、脳の鍛え方がこの本の中で科学的に証明され、記されています。自分で考えながら、読書をしたり、計算をしたり、勉強をすることによって、脳の細胞がたくさん働きます。逆に、自分で考えることなく、周りの状況に流されて「楽だから、これだけやる」「つまらないから、これはやらない」では、いい脳を作っていくことはできないそうです。また、勉強した分だけ、確実に効果が表れるのは、二十歳のころまでだそうです。

筆者のあとがきで、『勉強することは「ダサい」ことではなくて、自分の脳を鍛えて、自分の可能性を伸ばすことなのだ、と思ってくれる子供たちが、一人でも多く現れてくれることを祈っています』と書かれています。

お子さんの宿題への取り組み状況はどうでしょうか。現在、8歳か9歳。脳を成長させるゴールデンタイム真っ只中です。ぜひ、学習の仕方や習慣を振り返り、脳を鍛えていってほしいと願っています。

最近は、「今すぐ」「楽で」「簡単に」という考えが世の中にあふれ、いかにして効率的にやるべきかが優先され、こつこつとやり続けるという意識が少なくなっているように、私たち自身を含め感じます。もちろん、その考えが大切なことはありますが、現実はこちらと積み上げなければいけないことがたくさんあります。人間関係や学習(特に、九九を含めた読み書き計算)、運動(なわとびも!)…。こつこつと積み上げていく経験・体験が将来に生きてきます。その中で、自立して生き抜く力が身に付いていくのではないのでしょうか。

すぐにできないとあきらめるのではなく、こつこつと適度に我慢をして続けることは、結果や成功へ導く近道となることが多いと考えます。

宿題には

- ・学習の定着を図ること
- ・学習習慣を身に付けること
- ・約束を守る力や自分を律する力などの非認知能力を育むこと
- ・学校における学習の進捗と理解度をご家庭と有すること
- ・親子のコミュニケーションのきっかけ

などのねらいがあります。

宿題を含めた学習習慣の土台を作るために、学校からも指導を続けていきますが、ご家庭からの協力はかせません。子供たちの将来のためにも、引き続きご協力をお願いします。

長々と書きましたが、明日から冬休み。健康に気を付けて、楽しい冬休みをお過ごしください。

楽しい冬休みを!

